

## ◇新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)

### 学習会開催

去る七月九日(火)午後二時より、新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)学習会が開催された。これは昨年度三月十二日(火)に開催予定されていた学習会が総局退任により延期されたものである。

宗派からは、三好慶祐総務、満井秀城勸学寮員、大田利生浄土真宗本願寺派総合研究所長・勸学、寺本知正浄土真宗本願寺派総合研究所副所長、中井真人統合企画室幹事が出向し、講義形式で、解説・説明を行った。

高岡教区内からは、三十五名の参加者(オンラインを含む)があり、さまざまな質問があり学びを深めた。

## ◇災害対策委員会報告

昨年度の高岡教区災害対策委員会の議に基づき、各御寺院所属の御門徒さまの住宅被害状況の確認を依頼していましたが、七月十六日開催の災害対策委員会にて、報告期限を八月末まで延長し、罹災証明で「全壊」または「大規模半壊」と判定された方に範囲を拡大することになりました。高岡教区寺院各組組長さまに取りまとめをご依頼しておりますので、先日お送りいたしましたFAX送信用紙(公聴会案内に同封)をご利用いただき、各組長様までご報告をお願い申し上げます。なお、六月末までに提出いただいた御門徒さまに関しては、再提出は不要です。

## ◇高岡会館永代経法要報告

去る七月十九日(金)午前十時より、高岡会館礼拝

堂にて永代経法要が勤修された。

日中・逮夜と二座お勤めし、教区布教団布教大会では、午前は立川証さん(川上組浄教寺)・篠島敏信さん(関野組長楽寺) 午後は、青木哲隆さん(新湊組覚円寺)・村上昂文さん(水波組西養寺)にそれぞれご法話をいただいた。

高岡教区講社連盟の方々を中心に多くの方々に参加をいただき盛況に永代経をお勤めすることができた。

また十一月には会館報恩講も午前・午後の開催を予定している。

## ◇灯笼・仏像等の青銅製品の盗難に対する

### 注意喚起

当教区内の寺院二ヶ寺において境内地に設置されていた青銅製の灯笼や仏像が盗まれるという盗難事件被害が確認されました。いずれも事前に調べをした上で、深夜に境内地に侵入して重機などを用いて持ち去ったとみられます。

また高岡市内でも一月には公園や青銅製品を扱う店舗の軒先に設置された銅像が盗難に遭う被害が相次いでおります。

能登半島地震の被害で各地の寺社仏閣で補修工事が続いている状況下での犯行であり、今後も同様の盗難被害が続く恐れもあります。

寺院関係者や門信徒の方にはくれぐれもお気を付けいただきたく、注意喚起としてご報告申し上げます。

## ★仏教壮年育成研修会

七月二十一日(日)午後一時半より二〇二四年度の『仏教壮年育成研修会』が開催され各単位の仏壮会員及び会員から声をかけられた方が参加された。これは、「高岡教区内全寺院の壮年層の門信徒を対象に、仏教や浄土真宗の成り立ち・教えについて触れる機会とすると共に、現代社会の様々な問題を通して浄土真宗の学びを深めることにより、仏教壮年を育成する」という目的によるもの。『讚仏偈と御文章(聖人一流の章)から学ぶ仏教壮年活動』というテーマで、畠山遵さん(高岡教区勤式指導員、水波組明徳寺住職)を講師に研修会を行った。

畠山さんは、お勤めの練習に入る前に、経本の頂き方や大鑿の叩き方を丁寧に説明された。続いて讚仏偈や重誓偈、正信偈の声明練習に入り、普段からお勤めをされている方は、大きな声でお勤めをされていた。御文章の拝読に入り、大切りや中切り等を使つての拝読から、日常にご門徒が拝読をする時の注意点を説明された。その後仏事・作法の話や念珠の持ち方や門徒式章の着用等、基本的な所作や心構えでは「阿弥陀如来へのごあいさつは、合掌・礼拝にはじまり合掌・礼拝におわります。礼拝は祈ることではなく、『み仏のお徳をたたえ、敬うこと』ですから『お礼をする』ともいいます。力まず自然な気持ちで、怠りなくつづけてみましょう。」と述べられた。

今回は初めての方も参加をしやすいように、日常のお勤めを中



心に研修会を開催したところ参加者からは、わかりやすかったとの声が出て好評であった。しかし二〇一九年以前のような参加状況にはまだまだ戻っていないため、教区仏教壮年会では今後とも会員や門信徒が参加をしやすい研修会を考えていきたいとしている。

## ★高岡教区仏教壮年会連盟が石川教区へ見舞金を届ける

去る七月十二日高岡教区仏教壮年会連盟(山本讓治理事長)が能登半島地震で被災された石川教区教務所へ災害見舞金とお見舞いの品を届けた。高岡教区内も多くの被害があったが、石川教区内、特に能登の被害が甚大であり、災害活動の一助となればという思いで仏教壮年会の山本理事長と河原・国吉副理事長の三人が訪れた。

また金沢別院内にある災害ボランティアセンターを視察し、石川教区内で被災した各寺院の写真を見ながら説明を聞き、高岡教区仏教壮年会連盟としても、石川教区・高岡教区共に今後も継続して支援を続けていくことを確認された。



## ◆訂正のお知らせとお詫び

先月号にて記載しておりました「八月の常例法座」の講師名並びに講題に誤りがありました。正しくは「講師・増山孝琢師」「講題・生死解脱」です。訂正してお詫び申し上げます。

## ◆御同朋の社会をめざす運動のコーナー

全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇二四に参加して

八月七日、『全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇二四』が開催され、長田浩昭さん（大谷派法伝寺住職）をお招きしてご講演をいただきました。今年の一月一日の能登半島地震、その震源地となった珠洲市ではかつて原子力発電所建設の計画があり、地域の住民が粘り強く反対した結果、二〇〇三年十二月に計画は凍結されました。その中には大谷派の僧侶の姿もありました。その反対運動の中で見えてきたことを、地震被害の状況も絡めてお話を伺いたいと思い、今回のつどいを企画しました。

珠洲市では関西電力、中部電力、二つの電力会社によって原子力発電所が建設される予定でした。講演でもふれられていましたが、もし今回の地震の時、その原発が建設されて稼働していたら、更には志賀原発も稼働されていたらどうなっていたか？北陸地方だけでなく、名古屋や関西方面にも大きな被害があったことでしょう。珠洲市に原発が建設されなくて本当に良かったのですが、今回の地震ではその原発をとめた人々が被災しているのです。その事実を深く受け止めなければなりません。

講演の中で長田さんは、反対運動の様子を色々と話してくれました。その中で印象的だった話があります。珠洲市蛸島の漁師たちが四十日間の座り込みをしている中、長田さんたち大谷派の僧侶も一緒に座り込みをしています。その様子を不思議に思った方が、なぜ、僧侶も座

り込みをしているのか尋ねました。すると一人の年配の女性が「坊さんたちは長い間、お寺の厚い座布団の上に座ったまま、何も仕事してこなかった。その長い間のツケをここにいる坊さんたちは今払い始めたのかもしれない」と答えたそうです。この「厚い座布団に座って何もしてこなかった」という言葉は、能登の大谷派の僧侶だけに当てはまるものではありません。ほとんどの僧侶に当てはまる言葉なのではないでしょうか。ただお勤めするだけで、社会の不条理に向き合わない、その不条理に苦しむ人たちと連帯してこなかった私自身を厳しく問う言葉のように思いました。

長田さんは、今回の震災で能登のお寺の「厚い座布団」は全部崩れたとおっしゃいました。しかし、それは私たちにも言えることです。私のお寺の「厚い座布団」も崩壊しているのです。なのに、まだそれにしがみつこうとしている自分もいます。それを糺してツケを払う時が既に来ているのです。長田さんたちは法衣を着て南無阿弥陀仏の幟を立てて原発建設という地方の生活や命を切り捨てる国策に抵抗しました。私も一人の僧侶として差別や犠牲の押し付けという社会の不条理とどう闘っていくのか問われているように受け止めています。

最後に繰り返しますが、今回の震災では原発をとめた人々が被災しています。そして、復興復旧は明らかに遅い。私達は能登を見捨てず忘れず、何ができるかを考え行動することが求められています。

◇これからの日程（8/14～9/28）◇

8月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座 ※14-16日 教務所夏季休業	
19	得度講習会・福光教堂 (～20) 第2連区宗務懇話会 同朋作業部会	
21	得度考査・福光教堂	少年連盟役員会
22	公聴会	
23	ヤスクニ問題専門委員会	
24		保育連盟大学講座・富山(～26)
26	同朋の会	
27	僧研スタッフ研修会	
28	非戦・平和学習会 布教団研修会	
29		寺女・仏婦合同研修会 いろは塾
31		本山杯野球大会(富山)
9月		
2		仏婦組織教化専門委員会 連区少年連盟研修会(～3)
3		仏婦広報委員会
4	講社連盟研修会(～5)	仏婦執行部会
7		寺青ダーナバザー
9	災害対策委員会 龍谷教学会議	
10	連区布教団研修(岐阜) ～11日	コーラス(午後)
13	第1回僧侶研修会	
14	常例法座	
18		千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
19		ビハーラ研修会
20	聖典セミナー 連研活動推進協議会	仏婦教材委員会
24		コーラス(午前) いろは塾
27	第2回僧侶研修会	
28	第3回僧侶研修会	

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送(KNB)・73.8kHz.

第2・4日曜日(富山・高岡制作)午前6:00～6:10

●9月8日(日)

未 定

(富山教区)

●9月22日(日)

未 定

(富山教区)

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送(KNB)にて毎週日曜日午前6時から放送しております「西本願寺の時間」は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



【西本願寺高岡会館9月の常例法座】

ご講師：**清水正朋師**

(新潟教区与板組光源寺)

ご講題：『**大いなるみ手の中で=今ここのお救い=**』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。